

令和4年度 中学校教育研究協議会御案内

令和4年4月吉日

ごあいさつ

陽春の候、先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育実践や研究に対し、格別のご理解とご協力を賜り、ここに厚く御礼申し上げます。

本校では、令和3年度までの3年間の研究「『主体的・対話的で深い学び』の実現による資質・能力の育成」の成果を踏まえ、今後4年間の研究主題を「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」と設定した上で、第1年次の副題を「挑戦心を引き出す学習指導と生徒の個別最適な学びの在り方」と定め、生徒の挑戦心を引き出す探究課題と指導法の研究、「令和の日本型学校教育」における個別最適な学びと協働的な学びの研究、これまでの実践とICTとの最適な組合せの提案、などに取り組んで参りました。

中学校教育研究協議会では、各教科の特性等を踏まえた研究成果を発表するとともに、ワークショップ等の機会を通じて研究討議を深めて参る所存です。つきましては、是非ご来校いただき、ご意見・ご指導を賜りたくご案内申し上げます。

埼玉大学教育学部附属中学校長 安藤 聡彦

令和4年度 中学校教育研究協議会開催要項

1 研究主題

「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」
～挑戦心を引き出す学習指導と生徒の個別最適な学びの在り方～

2 期 日 令和4年5月24日(火)・5月25日(水)

3 会 場 埼玉大学教育学部附属中学校 〒336-0021 さいたま市南区別所4-2-5

電話 048-862-2214 FAX 048-865-6484

4 趣 旨 上記主題のもとに実践上の諸問題について提案、および研究協議をする。

5 主 催 埼玉大学教育学部附属中学校

6 後 援 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県連合教育研究会

埼玉県中学校長会 さいたま市中学校長会 埼玉县市町村教育委員会連合会

7 日 程

12:30～ 受付	13:00～13:15 校長挨拶 総論説明	13:25～14:15 研究授業Ⅰ	移 動	14:30～15:20 研究授業Ⅱ または講演会	移 動	15:35～16:45 教科等分科会等
--------------	-----------------------------	----------------------	--------	--------------------------------	--------	------------------------

※教科等分科会等には講演会も含まれます。

8 教科等研究授業・研究協議（分科会）

第1日 5月24日（火）

(1) 研究授業等 1校時(13:25~14:15) 2校時(14:30~15:20)

教科等	学年・組	校時	授業者	題材等	
社会	1年C組	1	高橋 佑樹	地理的分野 A	世界と日本の地域構成 (1) 地域構成
	2年A組	2	細野 悠司	歴史的分野 B	近世までの日本とアジア (3) 近世の日本
	3年A組	1	石高 吉記	公民的分野 C	私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
保健 体育	2年D組	2	阿部 健作	球技(ゴール型 ハンドボール)	
	2年B組	2	山田 大生	器械運動(マット運動)	
	3年C・D組	1	原賀 祥乃	陸上競技(ハードル走)	
技術 ・ 家庭	3年B組	1	木村 僚	D情報の技術(2) 画像認識を活用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング	技術分野
	2年D組	1	宗 真理子	B(1)食事の役割と中学生の栄養の特徴	家庭分野
	ワークショップ	2	ハルデイスカッション「中学校におけるUDL実践の実際～技術・家庭科を例に～」		
英語	1年B組	1	蓬澤 守	PROGRAM 2 1-Bの生徒たち	
	3年D組	2	森 菜摘	PROGRAM 2 Good Night. Sleep Tight.	
学校 保健	2年C組	1	内田 貴美子	傷害の防止(エ) 応急手当の意義と実際	
	2年C組	2	七木田 文彦 内田 貴美子	学級活動(2) 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成	

(2) 研究協議 分科会(15:35~16:45)

教科等	研究主題	指導助言者	司会者
社会	公民としての資質・能力の基礎を育成する社会科学習 ～生徒が自ら問い続ける単元計画の工夫～	県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 歌代 圭介	さいたま市立城北中学校 教諭 高野 隼
		埼玉大学教授 谷 謙二 埼玉大学准教授 清水 亮 埼玉大学准教授 宮崎 文典	
保健 体育	豊かなスポーツライフを実現する 資質・能力の育成へ向けた授業改善 ～課題の合理的な解決に夢中になる生徒の育成～	県教育局県立学校部保健体育課指導主事 新井 知章	上尾市立太平中学校 教諭 大山 智史
		埼玉大学教授 有川 秀之 埼玉大学教授 石川 泰成 埼玉大学准教授 菊原 伸郎	
技術 ・ 家庭	未来を切り拓く資質・能力の育成 ～「一人ひとり」の資質・能力を育むための学習指導～	県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 林 裕人	所沢市立美原中学校 教諭 船橋 秀太
		埼玉大学教授 山本 利一 埼玉大学教授 名越 斉子 埼玉大学准教授 荻窪 光慈	
		県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 笹嶋 京子	吉川市立南中学校 教諭 田崎 祥子
		埼玉大学准教授 島田 玲子	
英語	コミュニケーションの質の向上を図る学習指導の工夫 ～相手意識を大切にしてコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成～	県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 中尾 信太郎	戸田市立笹目中学校 教諭 北村 謙弥
		埼玉大学教授 及川 賢	
学校 保健	一人ひとりの質の高い学びの実現に向けた健康教育 ～これからの創造し、多様な選択を尊重して 支え合う力を養う～	県教育局県立学校部保健体育課指導主事 澤村 文香	上尾市立大石中学校 養護教諭 丑木 紅音
		埼玉大学准教授 七木田 文彦	

第2日 5月25日(水)

(1) 研究授業等 1校時(13:25~14:15) 2校時(14:30~15:20)

教科等	学年・組	校時	授業者	題材等
国語	1年A組	1	大谷 颯	情報を整理して書こう
	2年C組	2	大塚 悠希	考えよう!話し合いの「虎の巻」
	3年B組	1	碓氷 愛実	多様な読み手を説得する文章を書こう
数学	1年D組	1	奥田 勇司	データを活用して判断しよう
	2年D組	2	岸本 航司	データを比較して判断しよう
	3年B組	2	島田 和紀	数の世界をさらにひろげよう
理科	1年B組	1	伊藤 悠昭	物質の科学
	2年B組	2	山本 孔紀	電流とその利用
	3年D組	1・2	谷津 勇太	地球と宇宙
音楽	2年A組	2	柳下 康明	音楽の構造を理解して、工夫して演奏しよう(器楽・鑑賞)
	3年C組	1	荒井 瞬	音の重なり方を感じながら、ミニミュージックを楽しもう(創作・鑑賞)
美術	1年A組	2	吉田 真梨	わたしのためのスクラップ帳をつくろう!
	2年A組	1	小西 悟士	メッセージを持ち歩く~シルクスクリーンプリント~

(2) 研究協議 分科会(15:35~16:45)

教科等	研究主題	指導助言者	司会者
国語	実社会や実生活に生きて働く国語の資質・能力を育成する授業の創造 ~自ら言葉を吟味する必要がある単元の開発~	県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 御菩薩池 好行	越谷市立大袋中学校 教諭 岩田 ひろの
		埼玉大学准教授 本橋 幸康	
数学	統一的・発展的に考察する力を育成する数学学習指導 ~挑戦心を育成する発問と単元デザインに焦点を当てて~	県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 松本 信寿	上尾市立大石南中学校 教諭 富田 昌芳
		埼玉大学教授 二宮 裕之	
理科	OPPA論に基づく授業デザイン ~学習者による「学習目標」の形成と個人内評価に注目して~	県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 大澤 正樹	川口市立岸川中学校 教諭 福原 天
		埼玉大学准教授 中島 雅子	
音楽	音楽とより豊かに関わっていくための資質・能力の育成と形成的評価の工夫 ~思考・判断のよりどころとなる要素を捉えるための、効果的なフィードバックの研究~	県教育局市町村支援部義務教育指導課主任指導主事 佐藤 太一	狭山市立狭山台中学校 教諭 田沢 友香莉
		埼玉大学教授 竹澤 栄祐	
美術	生徒が自らの理想を追求し続ける授業の創造 ~一人一人の思いを引き出す学習環境の設定~	南部教育事務所教育支援担当指導主事 新居 良介	さいたま市立東浦和中学校 教諭 石神 憲二郎
		埼玉大学准教授 内田 裕子	

- 9 備考
- ・本研究協議会は、教義指第1001号（令和3年12月22日付）により、埼玉県教育委員会の後援承認済みです。
 - ・本研究協議会は、教学指1第6564号（令和4年1月12日付）により、さいたま市教育委員会の後援承認済みです。
 - ・5月17日（火）までに申し込みフォームにてお申し込みください。
※下記URLまたはQRコードを読み込んでください。
※申し込みにはメールアドレスの入力が必要になります。

参加申し込みサイト

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScH8AB8TNJuYLTkWOrEuIvgZyixBp6XOZ0s4i7oCaf-VOgyug/viewform>



- ・当日、受付にて一人あたり資料代及び参加費として2,000円いただきます。
（県内公立小中学校初任者は資料代及び参加費をいただきません。）
- ・両日の研究協議の内容につきまして、
本校のホームページ（アドレス <http://www.jhs.saitama-u.ac.jp/>）に掲載いたします。ぜひ御覧ください。

今後の社会情勢により、開催方法を変更することもございますので、本校のホームページを随時ご確認くださいませますようお願いいたします。

